

HSBC インド・インフラ株式オープン



格付： **C-4**



インド国内のインフラ関連企業の株式等に投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

インドのインフラ関連の株式等

利回り

-8.38%

概要

主に、インド国内のインフラ関連企業や、インドのインフラに関連し、収益のかなりの部分をインド国内の活動から得ている、インド以外の国の企業の株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指す。6月決算。

リスク

| | |
|--------|-------|
| 流動リスク: | N/A |
| 価格リスク: | 基準価格 |
| 為替リスク: | INR 他 |
| 信用リスク: | N/A |
| その他: | N/A |

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： HSBC投信株式会社

Web: <http://assetmanagement.hsbc.com/jp>

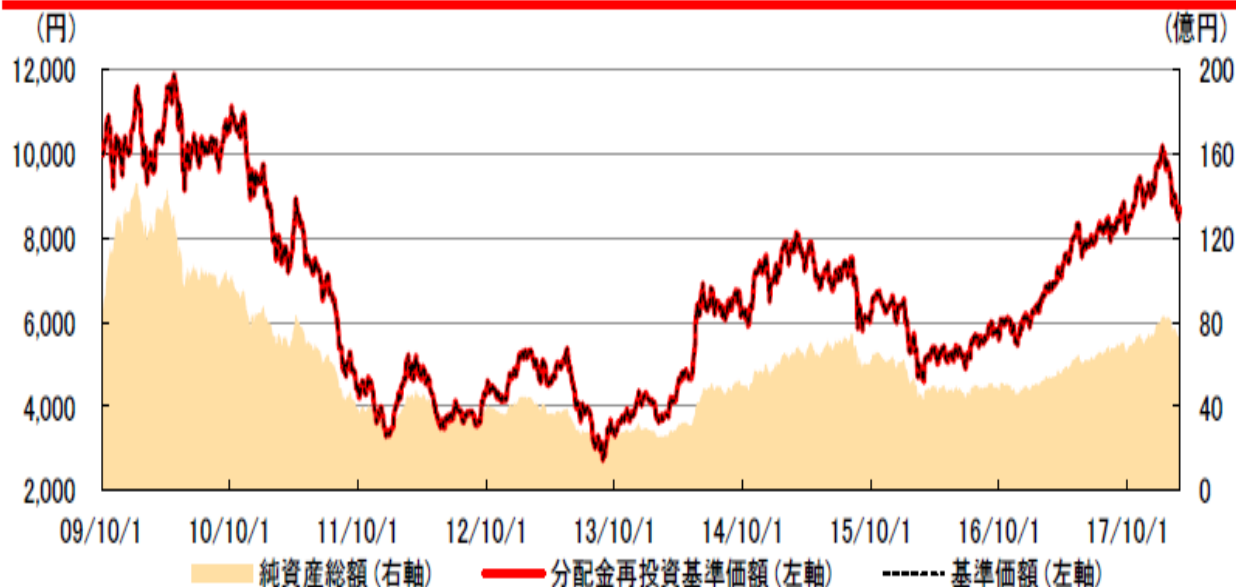
所在地： 東京都中央区日本橋3丁目11番1号

HSBCビルディング

Summary

3月のインド株式市場は軟調に推移し、SENSEX指数（インドのボンベイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する30銘柄で構成される時価総額加重平均指数）は前月末比-4.0%で取引を終了。米大統領が鉄鋼、アルミに追加輸入関税を課し、さらに中国には500~600億米ドル相当の同国製品に追加関税を課す大統領令に署名したことから、貿易摩擦が激化する懸念が高まり、世界の株式市場が下落、インド株式市場もその影響を受けた。またインド国内では、国営銀行の不正取引に関する報道などもマイナス要因となった。なお、インドルピーは対米ドルではほぼ横ばい、対円では下落した。しかしながら本投資信託では、インド経済は着実に成長しており、現政権による構造改革の進展から、成長率はさらに上振れると予想。景気拡大に伴い企業収益が改善しており、株式市場を取り巻く環境は良好とみている。また、現政権は、インフラ整備を最優先課題に挙げており、大型インフラ・プロジェクトを推進していることから、投資対象である資本財、エネルギー、素材、金融、不動産などのインフラ関連銘柄は、今後特に恩恵を受けることが見込まれると推測している。よって、リターン面を「C-」、リスクを「4」と判断する。

基準価額と純資産総額の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。